

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
 - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
 - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
 - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
 - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましよう

平成2年度予算案 総額 195億9,668万円

健康と福祉の向上

環境の整備、教育・文化の充実

予算規模

平成2年度当初予算案の規模は、一般会計百十三億五千九百九十九万九千九百九十九円、国民健康保険事業特別会計十八億九千九百九十九万九千九百九十九円、老人保健医療特別会計二十二億五千七百八十九万九千九百九十九円、下水道事業特別会計二十二億八千五百六十九万九千九百九十九円、水道事業会計十七億八千四百九十九万九千九百九十九円、大字寺戸財産区特別会計一千七百七十一万九千九百九十九円、物集女財産区特別会計一千二百七十九万九千九百九十九円と見込まれています。

一般会計

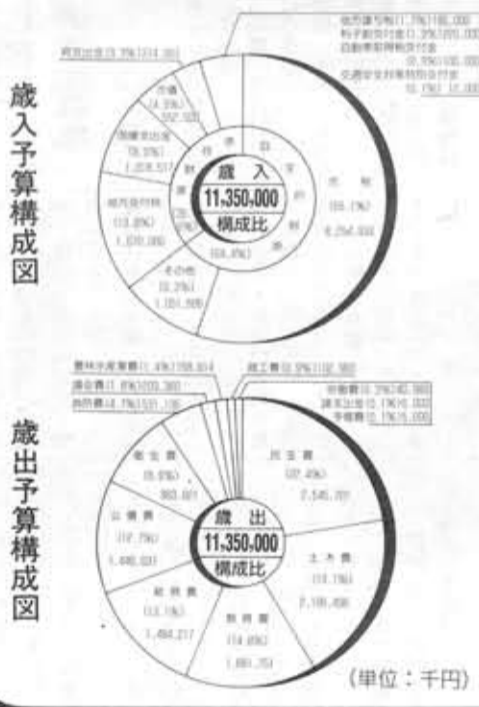
◆市民のくらしを守り健康と福祉の向上◆
老人福祉では、新たに介護手当を支給し、寝たきり老人等の介護者を支援するのをはじめ、ホームヘルプセンターを設置して、増やす介護ニーズに応えていくなど、在宅老人福祉を充実します。
また、高齢者福祉大学を

開設し、お年寄りの生きがい対策を進めます。
心身障害者福祉では、社会福祉法人乙訓福祉会への助成、要約筆記奉仕員養成講座の開催、福祉タクシー利用券の交付対象者の拡大を行います。
児童福祉では、専任の乳幼児育児相談員を置き、さらに、青少年の健全な育成の機能をも備えた福祉活動の拠点として、向日町警察署跡地に建設予定の総合福祉会館の基本設計、実施計画にたどり着きます。
次に、市民の健康を守る施策として、胃がん、乳がん検診などに加えて、子宮体がん検診を実施し、成人病の予防対策を充実します。
地域産業の活性化を図る産業振興では、農業関係と

して、青空市場の設置、集落話し合い運動推進事業への助成などを行います。
商工振興では、消費者保護調査の実施、消費者保護の推進などを行います。
市民の生命と財産を守る安心してくらしを推進する取り組みとして、救急自動車に専用電話を設置し、また、鶏冠井、上植野両地区に防災センターを建設するほか、防災必携を発行します。
◆住みよい生活環境の整備◆
自然景観と調和のとれた魅力あるくらしやしやすい住環境をつくるため、阪急東向日駅周辺で行うコミュニティ道路の改良、上植野町下川原地域の西園街道沿いの街並みを保存し、いにしへのロマンをただよぼす道筋への整備等計画的に実施してまいります。
浸水対策では、小規模河川、排水路の改修、寺戸川・石田川雨水幹線の整備を行い、総合雨水排除計画を推進します。
自然環境の美しい住みよいまちづくりとして、天体観望会や自然観察調査を実施します。
さらに、駅周辺の放置自転車対策として、東向日駅周辺の交通指導員を午後5時まで配置します。

◆心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実◆
学校教育関係では、第3向陽小学校のグラウンド改修と第6向陽小学校を視察教育のモデル校として整備します。また、勝山中学校では、22台のパソコンを配置し、教育内容を充実します。
社会教育関係では、生涯学習事業の充実、女性行動計画書の作成、物集女コミュニティセンターの完成、

一般会計予算構成グラフ



として、星空観測所の基本設計にたどり着きます。
平和啓発ビデオの貸出しや中国杭州市との友好交流協議書締結5周年記念事業も行います。
水道事業会計
17億8,140万円
豊富で良質な水を安定供給するため、取水井戸の改良、配水管の整備、漏水調査等を実施するとともに、給配水施設の維持管理に万全を期してまいります。
地下水の適正な採取と合理的な利用を図り、水資源を保全するため、地下水採取の適正化に関する条例を制定します。
大字寺戸財産区会計
177,111万円
大字寺戸財産区の運営経費ならびに財産維持管理費を計上しています。
物集女財産区会計
12,110万円
物集女財産区の運営経費ならびに財産維持管理費を計上しています。



民秋市長

平成2年度の国の経済運営は物価の安定を基礎としつつ、内需を中心とした景気の持続的な拡大を図り、対外不均衡を是正し、為替レートと物価、雇用の安定に努め、多極分散型の国土の形成を促進することを基本としています。
このため、平成2年度の国家予算案は、人口の高齢化、国際

算規模は、昭和56年度以来の高伸び率となっています。
一方、地方財政計画において、地方財政は、厳しい状況にあります。地方財政は、国と同一基調により、行財政の簡素化と経費の削減合理化に努め、個性豊かなふるさとづくりを推進するため、地方単独事業費を大幅に拡大するとともに、「高齢者保健福祉推進10か年戦略」に基づき、

私は、このような財政環境の中で、5万市民のくらしを守り、幸せと生きがいを求め、住環境を整え、文化の香りたたくよう誰もが住みよくなるまちを築きあげ、山積する重要課題に対処し、時代の要請に応える諸施策を積極的に織り込んでまいります。とりわけ、平成2年度は、市長4期目のしめくりの年であり、公約の実現に向け、高齢者福祉対策など、きめ細やかな福祉・保健施策を推進させるとともに、街路、道路、河川、水路、雨水排除計画の積極的な対応など生活関連施設の整備、消防・防災施設の整備、上水の安定供給や公共下水道の促進、緑の保全や西ノ岡丘陵の整備、地元産業の活性化対策などに努めたところであります。

さらに、教育環境や文化施設の充実、文化施設や体育施設の整備、コミュニティ施設の整備、ふるさと創生事業への取り組み、平和施策や国際交流にも意を注ぎ、積極的に予算計上を行ったところであります。

◆市民のくらしを守り健康と福祉の向上◆
◆住みよい生活環境の整備◆
◆心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実◆

平成2年度施政方針 個性豊かなふるさとづくり

地域の特성에応じた地方単独の福祉施策の充実を図るなど、大きい規模となっています。
さて、本市を取り巻く平成2年度の財政環境は、市税収入が住民税減税の影響を受けるものの、社会経済情勢の動向を反映して、所得増や景気が好調に推移し、地方交付税の増収も見込まれますが、なお、厳しいものが見込まれます。

さて、本市の平成2年度の当初予算案につきましては、市長就任以来一貫して取り組んできた市民本位の市政の推進を基本に、
○市民のくらしを守り、健康と福祉の向上
○住みよい生活環境の整備
○心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実

市民会館の大規模改修への調査等を行います。
図書館では、新たに、CDなどの貸出しを始めます。文化振興では、永い歴史のあるお年寄りにかかる医療費についての給付に必要な経費を計上しました。

平成2年度の完成に向け積極的に下水道整備の推進を図ってまいります。

主な新規事業

- ▼市民のくらしを守り健康と福祉の向上
 - ▼国民健康保険事業会計 18億9,206万円
 - ▼老人保健医療会計 22億5,780万円
 - ▼下水道会計 22億8,560万円
 - ▼物集女財産区会計 12,110万円
- ▼住みよい生活環境の整備
 - ▼天体観望会・自然観察調査の実施
 - ▼屋外取集車の購入
 - ▼小規模河川・排水路改修
- ▼心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実
 - ▼中学校OA機器設置
 - ▼小学校給食室改修
 - ▼生涯学習啓発パンフレット作成
 - ▼青少年健全育成啓発絵はがき等作成
 - ▼女性行動計画書の作成
 - ▼市民会館大規模改修調査設計委託
 - ▼CD等貸出
 - ▼生涯学習講座の開催
 - ▼星空観測所基本設計委託
 - ▼向日市文化振興基金の創設
 - ▼物集女城発掘調査
 - ▼物集女車塚古墳整備設計委託
 - ▼市民プール建設基本設計委託
 - ▼軽スポーツ交流大会
 - ▼向日市・杭州市友好交流協議書締結5周年記念事業